



NO.452

R7年4月1日

発行

〒869-1217

熊本県菊池郡

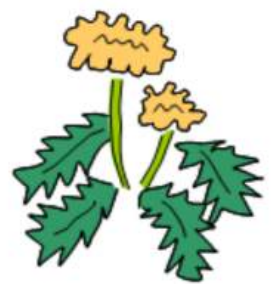
大津町森54-2

社会福祉法人

三気の会

三気の里

☎096-293-8100



副施設長就任のご挨拶

副施設長 松本 慎太郎

令和7年4月1日付で三気の里の副施設長に就任いたしました松本と申します。

日頃より利用者の方をはじめご家族、地域の皆様より温かいご支援ご協力を賜り、心からお礼と感謝を申し上げます。

障がい福祉に携わり24年、福祉を取り巻く環境、世の中の情勢など目まぐるしい変化を経験してきましたが、だからこそ活かすことができる信じ、与えられた役割を全うしたいと考えております。

当法人の掲げている理念、基本方針の実現を目指し、地域に根差した施設づくりを理事長はじめ全職員と共に一丸となって努力してまいります。

どうぞこれからもご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い

願い申し上げます。

表明

ドラマ「御上先生」の言葉を借りると、今の三気の里に必要なのはバージョンアップではなくリビルドであり、既存のシステムやプロセスを根本的に見直し再構築することだと感じています。まずは職員として、当たり前のことが当たり前にできる組織作りを行っていきます。三気の里の5つの基本方針を基に、ご説明すると、

『利用者第一主義』

・障がい特性をきちんと理解した支援、対応ができるよう個々の「基礎資料」「障がい特性シート」「ケース会議」の見直しなどを行います。職員目線ではなく、利用者目線で物事を考えられるよう努力します。

『社会参加へのチャレンジ』

・コロナ禍により消極的になった地域のイベントに、積極的に参加し、個々に応じた外出や外出に変わる行事の見直しなどを行います。ドキドキわくわくできる日々が送れるよう色々な企画を行います。

『地域との連携』

・コロナ禍前の約700名の来場があった規模までとはいきませんが、毎年11月に行っている「開園記念祭」に地域の方にも足を運んでもらえるようにしたいと思っています。また地域連携推進会議の実施に伴い、今まで以上に地域の方との繋がりを密にしていきたいと思います。

『支援者の資質向上』

・当たり前のことかもしれませんが、あいさつができる、時間や期限を守る、整理整頓ができる、相手のことを考えられる、ゴミを拾える、汚れていた

ら掃除ができる、脱いだ靴を並べられる、綺麗な言葉をつかえるなど、社会人として、福祉人として高められるよう指導します。

『快適な生活の保障』

・39年目の施設のため、環境が良いとは言えないですが、その中でも少しでも快適に生活できるように、まずは清潔な環境、整理整頓された環境が常に整えられるようにします。

ここにお示した以外にも色々やらなければならぬ課題が山積していますが、目に見えて結果が出やすいことから着手し、そのことが利用者の方の利益、職員の働きやすさに繋がり、より良い施設となるよう取り組んでいきたいと思っています。





4月



1班「考える」

グレッグ・マキューンの本に次のような文がある。「なんとなく良さそうなことを眺めている暇はない。考えるべきは、どうすれば最高の成果が出せるかということだ」

暖かな陽気を感じる中、新年度が始まりました。新年度と聞くと新しい事に挑戦する意欲、どうなるのかという不安等様々な感情を抱くと思います。幸いな事に1班は配置転換等なく、昨年度と同じメンバーで今年度を迎えることができました。今年度の1班のテーマは「考える」です。利用者さんの年々変化していく身体面と、日々変化する心情へどのようにサポートしていくか、班員1人1人が多角的視野を持って考え実践する。1人で困難な場合は、班全体で考え、実践する。「なんとなく日課や時の流れに身を任せている暇はない。考えるべきは、どのように利用者さんをサポートしていくかだ」まずは良いスタートが切れるようにしっかり“考え”たいと思います。

副主任 清田 健士郎



2班「欲張りになる」

いよいよ新しい年度のスタートです。他班から新メンバーの利用者Aさんを迎え入れ、利用者24名、職員11名の総勢35名で2班は始動しています。今年度の班のテーマは『欲張っていく』です。「作業」と「運動」を両軸に日中活動を提供します。

作業は、これまでフルーツキャップネットとハンカチの2つを外部から請け負っていましたが、今年度からは全利用者が役割を担って取り組めるネットに一本化しました。利用者さんの担当工程や利用者さん同士のペアリング、作業スペースのレイアウトなど大幅に見直しを行い、作業効率向上と過去最高の収益を狙っていきます。また、作業の前後や納品中の少しの空き時間も無駄にせず、ラジオ体操や散歩など毎日、運動の機会を創出します。一見、相反する内容にも思えますが、濃密な時間の使い方をすることで実現できるはずです。そして、その先には利用者さんの仕事に向かう高い意識と、高齢化に伴う身体機能の低下に少しでも歯止めをかける効果があると確信します。

私自身の性格を表すような『欲張り』な目標ですが、2班の皆には呆れずに付いてきてもらいたいです。宜しくお願いします！！

副主任 杉本 安代

3班「一人は全員の為に、全員は一人の為に」

三気の里に入職し早くも6年が経ち、そして、新しい年度となる4月からは副主任を任せて頂ける事となりました。また、この6年は、本当に沢山の事を経験させて頂きました。初めての職種であった為、悩む事も多く、時には立ち止まってしまう事もありました。そんな時利用者の皆さんや、スタッフ、家族の方から支えて頂いた事を思い出します。そして今、これまで支えて頂いた恩を、沢山の方に返していく出番が来たのだと思っています。さて、今年度の3班の目標は「情報の共有」にしました。利用者さんの事についての気づきや変化を、チームとして共有し「多角的な面からアプローチができるように！」と考えた為です。全員は一人の為に、一人は全員の為に。チームとして取り組み、いずれ、その取り組みが、利用者さんの喜びとなって、我々スタッフに戻ってくると信じて、頑張ります。

副主任 早瀬 寛



4班「語り合おう」

今年も4班の利用者さんに色々な経験をして欲しいと思います。入所の方の年齢は50代から80代になりました。年齢は高くなっていますが、洗濯物を畳んで片付けることや、入浴衣類の準備をするなど自分のことを自分でされ、自立されている方もおられます。今年の4班のテーマは「語り合おうチーム4班」です。一人一人をよく観察して班員みんなで語り合っていきます。例えば生活の一場で、できていることはどんなことなのか。どう工夫をすればできるようになるのか。どこまでならできるのか。できることを作れないのか。その方にとって適切な支援はどんなことなのだろうかとチームで語り合っていていきたいと思っています。私たち班員が語り合えば語り合うほど4班利用者さんの生活が充実すると思います。

副主任 相馬 敦



5班「チャレンジ」

今年度も、5班リーダーとして務めさせていただきます。松村雄一です。今回、5班リーダー2年目の年であり、昨年度に出来なかったこと、取り組んでみたいことを皆で力を合わせながら取り組む1年にしたいと考えています。更に、今年度も個別支援の聞き取りで挙げられていた「健康面」「意思疎通」「外出・買い物」「口腔ケア」「余暇活動」「身嗜み」の6つをより一層取り組んでいくことで、今まで出来なかったことが出来るようになるという喜びを一緒に感じ、味わうことで、利用者さんの満足だけでなく安心へと繋がっていくのではないかと考えます。今年度も健康に留意しながら、利用者さん15名、スタッフ4名、総勢19名で令和7年度・5班をスタートします！

副主任 松村 雄一



GH「変わらないこと」「変えること」

4月から、新年度のスタートです。「春」「新年度」「スタート」となんだか気持ちが引き締まる時です。

グループホームは、スタッフの顔ぶれはほとんど変わらないのですが、働き方や役職が変わったり、園内から新しいスタッフも入ったりしています。立場や環境が変わることで視点が変わり、新たな発見もあるかと思います。3軒のグループホームそれぞれのことはもちろんですが、グループホーム全体でも協力し合い、利用者さんのためにいろいろと改善していけたらと思っています。

私たちスタッフは、「気持ちを新たに」と思っているにも、変化の苦手な利用者さんにとって、年度変わりは不安もある時期です。利用者さんの不安を取り除くためには、今まで以上に生活の安定を守るための支援をつづけ、利用者さんにとってより良い生活になるため、さらに何が必要かを考えていくことが重要です。

「変わらないこと」も大事にしながら、利用者さんとスタッフが一緒に「変えること」を楽しんでいきたいと思っています。

主任 藤本 優香

B@TREE

「それぞれの成長と次の1年に向けて」

サービス管理責任者

今池 一成

この春、社会人2年目を迎えるAさん。

B@TREE利用当初は、希望や期待よりも新しい生活や仕事への不安や緊張で頭が一杯になり、情緒が不安定になったり作業ミスがないかをスタッフに再三確認したり、とにかく自分自身を肯定できないスタートでした。そのような状況でも、まずは毎日通所できていることを肯定し、これから挑戦したいことや不安要素を少しでも改善できる手立てなどを一緒に考える面談を繰り返してきたことで、今では仕事の成果（給料日）を励みにして、休日の楽しみも確立できるようにになりました。

それでも障がい特性や繊細な性格から情緒の波はありますが、大なり小なり人は波があつて当然。大切なことは「毎日が大波ではなく、対処できる小波になる」こと。そのためには、「本人と支援者が、そう感じられるような経験を重ねていく」ことだと、就労支援を通して実感し

ています。

「今日も1日おつかれさまでした。お先に失礼します。」

1日の最後を締めくくる、Aさんの挨拶が今日もB@TREEに響き渡っています。



アンパ

「本格的に始動」

支援員 弓削 綾子

今年から「地域活動支援センターアンパ」を本格的に始動することとなりました。今までは新規利用をされる方はおられましたが、希望に沿った活動の提供が出来ずにいました。これから「地域の拠点となる活動」へ力を注ぎ、町内の相談支援事業所や基幹相談支援センター等との連携を強化していきます。

利用者の方に寄り添い、困っている方の話を沢山聞いて、来てよかったと思えるような環境作りをしていきます。地域の方が気軽に立ち寄って頂けるような環境作りや創作活動、ゲームなど楽しい企画をしていきたいと考えています。皆さま、是非「地域活動支援センターアンパ」をご利用下さい。

事務便り

「ジムおじさんのボヤキ」

事務長 寺田逸朗

令和6年度の制度改正によって、生活介護に1時間ごとの報酬単価が適用されるなど、机上で考

えられたものが、現場の状況に即したものであるのかの確認をしつかり行わずにそのまま導入されたのではないかと感じます。

昔ながらの事務員としては、複雑なものを単純化・効率化して生産性を上げていくのが好きなので、近年のインボイスや電帳法や定額減税で色々と新たな方法を学びましたが、今度は「厚労省においても効率化とは逆の流れ？」という気持ちです。「日本は生産性が低いから上げていかないと」と言われていたように思いますが。

福祉サービスにおいては今後需要（サービスを受けたい人）は増えていくのに、供給（サービスを提供する人）は減っているのが現状で、それからすると、テクノロジーが進化して、支援者がウェアラブル端末を装着しているだけで利用者一人一人の支援情報の共有や提供した支援データの記録、それをまとめて報告までをAIが自動でやってくれるようになるまでは、制度の方で人が動きやすいようにしていただきたいものです。

処遇改善手当は、確かに有り難いのですが、今後はそれだけでは人は振り向いてくれなくなるように感じています。



4月スケジュール

01(火) 就任式
02(水) 世界自閉症啓発デー
04(金) 芸術クラブ
05(土) 世界自閉症啓発デー
2025 in 玉名〜4/6
16(水) 囑託医来診

BeTREE
＜営業時間＞
9:30～17:30



betree314

毎週月曜日 訪問理容サービス
毎週火曜日 BeTREE役場販売

【後援会】

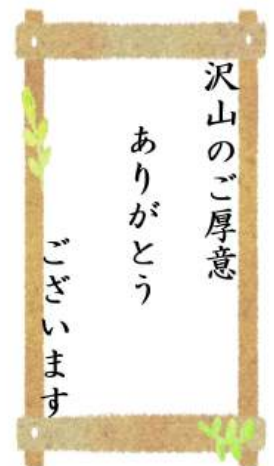
田中基幹様	藤野元嗣様	伏貫直美様	清田勝実様	春野宗敏様	米田孝一様	野崎明浩様	甲斐真史様
赤星一郎様	荻原久雄様	中嶋久枝様	竹下英毅様	園田真也様	江越和信様	財津睦人様	宮本真一様

東坂富士代様 井上ちえ子様
金森保様 井手上昌子様
小牧博則様 森川琇介様
赤星央子様 大田黒隆様
米村秋江様 坂梨清美様
渡邊正司様 田中満子様
松村俊介様 米田孝一様
櫻木勇夫様 中村秀隆様
魚谷秀文様 清田栄一様

【寄付物品】

勇明子様
木本博明・信子様

【寄付】



坂井省英様 岡本史郎様
石丸英稔様 松木伴良様
迫口智哉様 横手聡様
坂田寛様 細野テツ子様
山内守様 山下さつき様
藤本栄之助様 清藤由美子様
小屋野ミチ子様
森区区長 坂本昭信様
光行寺様
ヤマモト住建様
大津岩下薬局 岩下知生様
熊本県予防医学協会様
旬規工川工務店様
南九イリヨ(株)熊本支店様
松田自動車様
八代学園様

【Vo】
前淵隆子様(ブラッシング)



編集後記

4月のイメージカラーは桜色や薄い黄色といったパステルカラーなんだそうです。今年も三気の桜は咲き誇っていますね。出会いと別れの時期をこの桜は何度も見てきたのでしょうか。私の思い出話を少し、私が入社したのは今から10年前です。高校卒業後、制服からなれないスーツを身にまとい、取ったばかりの運転免許でドキドキしながら出社したもの、駐車場に着くもバックでの駐車がうまくできず、半泣きの私を見て同期のスタッフ車が車を駐車してくれました。そんな、ちょっぴり恥ずかしい思い出があります。でもあの時のスタッフはとても優しくかったです。いいえ、三気の里の皆さまがこんな小娘にとっても優しくかった、温かかった、それは10年たった今でも変わりません。とても感謝しています。皆様、今年度も宜しくお願いします!!

中村 奈実